



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 自衛隊関係者（家族会・隊員・地方協力本部）の三位一体の連携で 夕顔サマーフェスティバル（栃木県上三川町）広報展を開催



左から猪瀬2佐、家族会（中央2名）、真岡所長



左から広報官（田中曹長）、猪瀬2佐、上三川町長、真岡所長



家族会出店の販売ブースも大盛況



大人も子供も南極の氷に触れて楽しんだ。



制服試着を楽しむ来場者



迷彩服を試着する来場者

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、7月29日（土）、栃木県上三川町で行われた「第28回夕顔サマーフェスティバル」で広報展を開催した。

この広報展の実施に際しては、7月21日から全国一斉に開始された「陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン（以下「自衛隊サマキャン」）への協力依頼を受けた上三川町自衛隊家族会会員（時計店いのせ代表 猪瀬敬司氏）と、そのご子息（護衛艦隊司令部・猪瀬2海佐）から、サマーフェスティバル会場エリア内となる時計店の駐車場を利用して自衛隊の募集活動をPRしたいとの申し出を受け、開催することとなった。

「夕顔サマーフェスティバル」は栃木県上三川町の夏を飾る一大イベントでコロナ禍の為4年ぶりの開催ということもあり多くの来場者が訪れた。

当日は、猪瀬2海佐と共に広報活動を行い、自衛隊ブースには海自護衛艦隊司令部の計らいで持ち込まれた「南極の氷」を展示した他、自衛隊説明コーナー・制服試着・上三川町自衛隊家族会（会長 杉山芳男氏）によるグッズ販売等を出展したところ大勢の来場者で賑わった。

特に、南極の氷の展示が人気を博し、「南極の氷はとても冷たくてつるつるでした」「氷に閉じ込められ太古の空気をパチパチとした音で楽しめました」と夏の暑い日差しの中、冷たい氷に触れながら楽しそうに話していた。

真岡募集案内所は、「今後も、協力団体との連携・信頼関係を強化して行き、今回実現したような自衛隊関係者による垣根を超えて開催できる企画に取り組んでいきたい」としている。